

秩父市公共下水道事業等におけるウォーターPPP 導入検討に関するサウンディング型市場調査

実 施 要 領

令和7年8月18日

秩父市環境部下水道課

目 次

1. 調査の目的	1
2. 対象施設の概要	1
(1) 公共下水道事業	1
(2) 農業集落排水事業	2
(3) 戸別合併処理浄化槽	3
3. サウンディングスケジュール	4
4. サウンディングの対象者	4
5. サウンディングの手続き	4
(1) アンケート調査参加申込み	4
(2) アンケート調査の実施	5
(3) アンケート調査結果概要の公表	5
(4) ヒアリング調査の実施	5
(5) ヒアリング調査結果概要の公表	5
6. 留意事項	5
(1) 参加事業者の取り扱い	5
(2) 費用負担	5
(3) 追加対話への協力	5
7. 問い合わせ先	5
8. 参考資料	6

1. 調査の目的

本市の下水道事業は、昭和 27 年に事業認可を取得し事業に着手しました。昭和 43 年には中級処理（高速散水ろ床法）として下水処理場の運転を開始し、その後、昭和 55 年からは高級処理（標準活性汚泥法）を実施しており、事業開始から 70 年以上経過しています。

近年では、人口減少に伴う下水道使用料収入の減少や職員数の減少に伴う人手不足、増え続ける老朽化施設など、下水道事業をとりまく状況は厳しさを増しており、適切に施設を管理運営し持続可能な下水道事業を実現するための新たな手法の導入が求められています。

このような状況の中、国はさらなる民間の経営ノウハウや創意工夫を活用することにより、下水道事業の持続可能性の確保を図る「ウォーターPPP」の導入を強く推進しています。

本市においても、「ヒト」、「モノ」、「カネ」の問題に適切に対応し、将来にわたって下水道事業の健全で安定的な運営を継続するための手法として、ウォーターPPP の導入について検討することとし、民間事業者の皆さまの参入意向や事業スキームなどについての考え方を把握することを目的として、サウンディング型市場調査を行うことといたしました。

本調査でいただいた御意見は、本市のウォーターPPP の事業範囲等の検討に活用する考えですので、御協力くださいますようお願いいたします。

2. 対象施設の概要

（1）公共下水道事業

1）処理区域

区分	処理区名	整備面積	処理人口
単独公共下水道	中央処理区	1,088ha	区域内人口：32,413 人 接続人口：31,960 人

2）施設

①管路

管路は、下記のほか、マンホール、マンホールふた、取付管、ます、マンホールポンプ設備等を含む。

区分	処理区名	管きょ延長	管きょ内訳
単独公共下水道	中央処理区	214.07km	分流汚水・合流：206.05km 雨水：8.02km マンホールポンプ：36 箇所

②終末処理場

名称		秩父下水処理センター
処理区名		中央処理区
供用開始		昭和 43 年 10 月（中級処理） 昭和 55 年 10 月（現行）
処理方式	水処理	標準活性汚泥法（疑似嫌気好気運転）
	汚泥処理	濃縮－消化－脱水
能力	計画日最大汚水量	13,040m ³ /日
	既設能力	21,000m ³ /日
焼却炉の有無		有（休止中）

③ポンプ場

名称		武之鼻ポンプ場	大畑ポンプ場	影森ポンプ場	大野原ポンプ場
処理区名		中央処理区	中央処理区	中央処理区	中央処理区
供用開始		昭和 62 年	昭和 60 年	平成 12 年	平成 5 年
能力	晴天 時間最大	0.97m ³ /分	0.80m ³ /分	0.43m ³ /分	2.85m ³ /分
	雨天 時間最大	-----	-----	-----	-----
	既設能力	2.3m ³ /分	1.6m ³ /分	0.78m ³ /分	5.0m ³ /分
適用		分流汚水	分流汚水	分流汚水	分流汚水

（２）農業集落排水事業

１）処理区域

区分	区域名	対象面積	処理人口
農業集落排水	太田上	19.0ha	
農業集落排水	久那	25.5ha	
農業集落排水	別所・巴川	18.4ha	
農業集落排水	小川戸・塚越	20.8ha	
農業集落排水	明ヶ平・小川	35.2ha	
農業集落排水	女形	18.5ha	

２）施設

①管路

管路は、下記のほか、マンホール、マンホールふた、取付管、ます、マンホールポンプ設備等を含む。

区分	対象区域	管きょ延長	マンホールポンプ
農業集落排水	全区域	34.9km	34 箇所

②終末処理場

名称		太田上集落排水処理センター	久那集落排水処理センター	別所・巴川集落排水処理センター
区域名		太田上	久那	別所・巴川
供用開始		平成 14 年 2 月	平成 18 年 4 月	平成 22 年 4 月
処理方式		連続流入間欠ばっ気方式	膜分離活性汚泥方式	DO 制御連続流入間欠ばっ気方式
能力	計画日最大汚水量	177m ³ /日	282m ³ /日	340m ³ /日
	処理能力(日平均)	160m ³ /日	246m ³ /日	246m ³ /日

名称		小川戸・塚越農業集落排水施設	明ヶ平・小川農業集落排水施設	女形農業集落排水施設
区域名		小川戸・塚越	明ヶ平・小川	女形
供用開始		平成 9 年 5 月	平成 12 年 6 月	平成 12 年 6 月
処理方式		告示接触ばっ気方式	回遊式間欠ばっ気浄化槽	FRP 膜分離活性汚泥方式
能力	計画日最大汚水量	165m ³ /日	66m ³ /日	59.4m ³ /日
	処理能力(日平均)	149m ³ /日	59m ³ /日	66m ³ /日

(3) 戸別合併処理浄化槽事業

1) 施設

エリア	地区	基数
A エリア	寺尾・田村・別所・下影森・久那・荒川久那・浦山	275 基
B エリア	太田・堀切・小柱・伊古田・品沢・蒔田・黒谷	380 基
C エリア	大宮・栃谷・山田・定峰	339 基
D エリア	下吉田	344 基
E エリア	大田部・上吉田・石間・阿熊・久長	143 基
F エリア	贅川・小野原・白久・日野	243 基
G エリア	上田野	358 基
H エリア	中津川・大滝・三峰	182 基
合計	市が保守点検業務対象(令和 7 年 4 月 1 日現在)	2,264 基

3. サウンディングスケジュール

実施項目	実施予定日
実施要領の公表	令和 7 年 8 月 18 日(月)
アンケート調査参加申込期間	令和 7 年 8 月 18 日(月)～8 月 29 日(金)
アンケート回答期限	令和 7 年 9 月 12 日(金)
アンケート結果の公表	令和 7 年 9 月 26 日(金)
ヒアリング参加企業の選定・連絡	令和 7 年 9 月下旬
ヒアリング調査の実施	令和 7 年 10 月上旬～中旬
ヒアリング調査結果概要の公表	令和 7 年 11 月中旬

4. サウンディングの対象者

秩父市下水道事業等におけるウォーターPPP、包括的民間委託、官民連携事業に関心のある法人とします。

ただし、次のいずれかに該当する者を除きます。

- (1) 地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 4 の規定により競争入札への参加を排除されている者
- (2) 暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 6 号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）または暴力団関係事業者（暴力団員が実質的に経営を支配する事業者その他同条第 2 号に規定する暴力団または暴力団員と密接な関係を有する事業者をいう。）
- (3) 会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者または民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（会社更生法にあっては更生手続開始の決定、民事再生法にあっては再生手続開始の決定を受けている者を除く。）
- (4) 市町村税（特別区にあっては都税）または消費税および地方消費税を滞納している者

5. サウンディングの手続き

(1) アンケート調査参加申込み

アンケート調査への参加を希望される方は、下記【申込みフォーム】から必要事項を入力の上、お申し込みください。

参加申込みをしていただいた方（担当者）宛てに、アンケート調査票を電子メールで送付します。

1) 必要事項

- (ア) 法人名
- (イ) サウンディング担当者氏名
- (ウ) 連絡先電話番号
- (エ) 連絡先メールアドレス

2) 申込み受付期間

令和 7 年 8 月 18 日（月）～8 月 29 日（金）

3) 申込みフォーム

URL : https://apply.e-tumo.jp/city-chichibu-saitama-/offer/offerList_detail?tempSeq=100484

(2) アンケート調査の実施

アンケート調査票は、回答期限までに次の連絡先へ電子メールで送付してください。

1) 回答期限

令和7年9月12日(金)

2) 提出先

【導入可能性調査業務受託者】

アジア航測株式会社 西日本インフラ技術部 担当者：竹内 大輔

E-mail : dsk.takeuchi@ajiko.co.jp

TEL : 06-4801-2259

※メール件名『秩父市サウンディング調査について(法人名)』としてください。

(3) アンケート調査結果概要の公表

アンケート調査の結果について、調査参加者数や業種等の概要をホームページで公表します。

なお、調査に参加した方の名称等は公表しません。

(4) ヒアリング調査の実施

アンケート調査に参加した方の内、ヒアリング調査に協力いただける方を対象に、ヒアリング調査を実施します。

別途、担当からヒアリング調査への参加意向についてお尋ねします。

なお、時間の都合上、アンケート調査でヒアリング調査にご協力いただける方全員は実施できない場合がございますので予めご了承ください。

1) 実施期間

令和7年10月上旬～中旬(参加法人等ごとに調整します)

2) 実施方法

対面またはオンライン(Microsoft Teamsによるweb会議を予定)

(5) ヒアリング調査結果概要の公表

ヒアリング調査の結果について、概要をホームページで公表します。なお、調査に参加した方の名称等は公表しません。また、参加した方のノウハウに配慮し、公表にあたり事前に参加した方に内容の確認を行います。

6. 留意事項

(1) 参加事業者の取り扱い

サウンディングへの参加実績は、事業者公募等における評価の対象とはなりません。

(2) 費用負担

サウンディングへの参加に要する費用は、参加事業者の負担とします。

(3) 追加対話への協力

本サウンディング終了後も、必要に応じて追加の対話(文書照会を含む)やアンケート等を実施する場合があります。その際は御協力をお願いいたします。

7. 問い合わせ先

質問等がある場合は、次の連絡先までお問い合わせください。

【導入可能性調査業務受託者】

アジア航測株式会社 西日本インフラ技術部 担当者：竹内 大輔、吉田 恵勝

TEL：06-4801-2259 FAX：06-4801-2202

E-mail：dsk.takeuchi@ajiko.co.jp

※メール件名『秩父市サウンディング調査について（法人名）』としてください。

【発注者】

秩父市環境部下水道課 担当者：町田 芳嗣

TEL：0494-25-5218 FAX：0494-25-5236

E-mail：gesuido@city.chichibu.lg.jp

※メール件名『秩父市サウンディング調査について（法人名）』としてください。

8. 参考資料

- （１）秩父市下水道計画図（合流・分流污水）・・・資料 1
- （２）秩父市下水道計画図（雨水）・・・資料 2
- （３）秩父市下水道センター一般平面図・・・資料 3
- （４）農業集落排水事業位置図・・・資料 4
- （５）戸別合併処理浄化槽事業保守点検エリア・・・資料 5